

平成 22 年度健保組合決算見込の概要

平成 23 年 9 月 8 日
健康保険組合連合会

問い合わせ先：健保連 企画部 調査・分析グループ
TEL：03-3403-0926

本概要は、平成 23 年 3 月末に存在した 1,458 組合の 22 年度決算見込状況を集計した結果をまとめたものである。なお、比較対象となる 21 年度の数値は 22 年 3 月末に存在した 1,473 組合の確定データである。

平成 22 年度は、4,154 億円の経常赤字

— 過去最悪の 21 年度に次ぐ大幅赤字 —

- ◇ 赤字組合は全組合の 8 割
- ◇ 保険料率を引き上げた組合は過去最高の 415 組合(全組合の 3 割)
- ◇ 保険料収入は、前年度比 2.90% (1,733 億円) 増加
法定給付費は、同 3.01% (1,006 億円) 増加
拠出金・納付金額は、同 2.83% (769 億円) 減少
- ◇ 保険料収入に対する義務的経費の割合は、過去 2 番目の 99.1%
- ◇ 被保険者数・被扶養者数は、前年度に引き続き減少

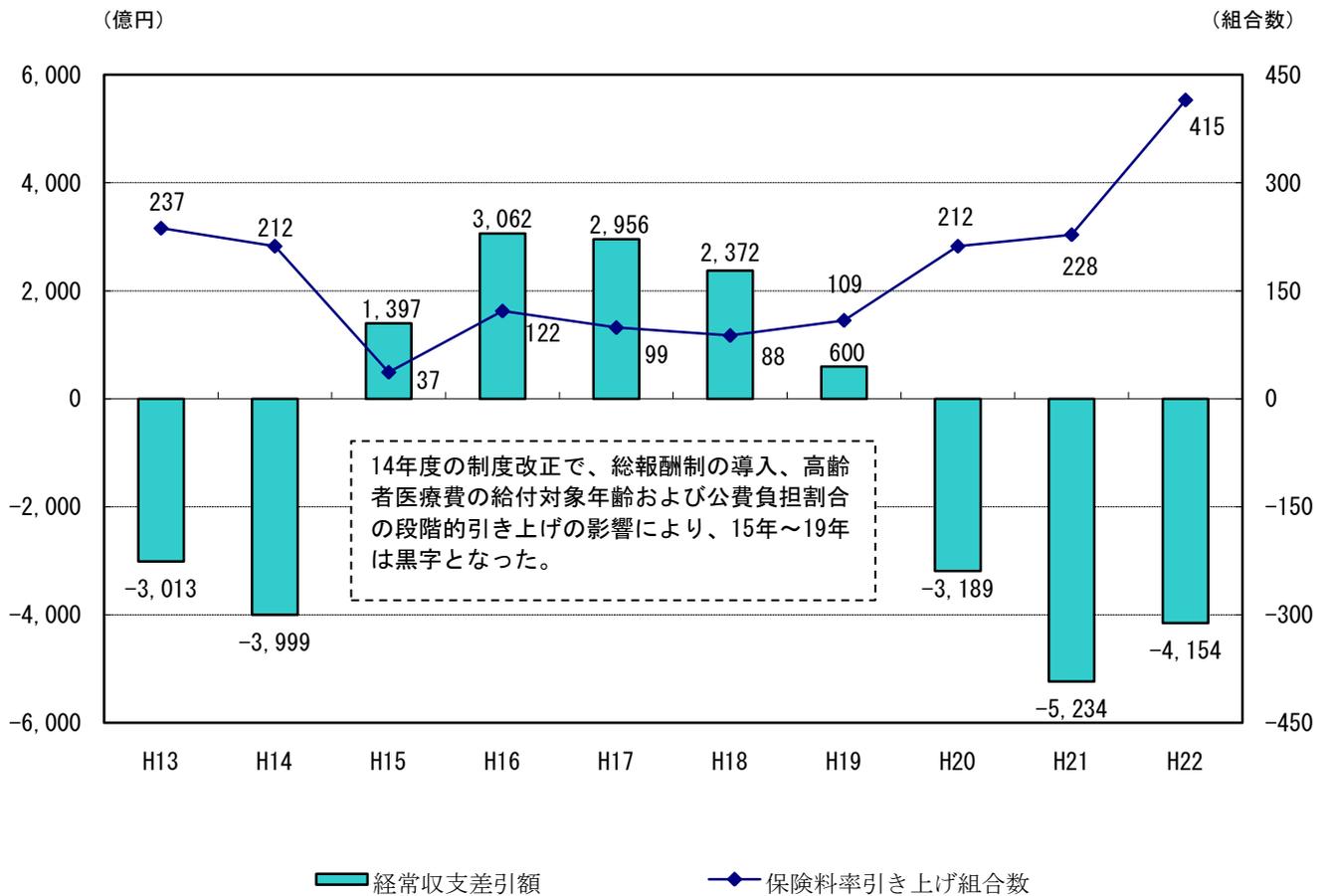
1. 経常収支状況

- (1) 22 年度の経常収支は、経常収入 6 兆 2,854 億円、経常支出 6 兆 7,008 億円で、過去最悪だった 21 年度に次ぐ 4,154 億円の大幅赤字となった。前年度に比べ、経常収入は 1,136 億円、1.84%増加、経常支出はほぼ横ばいの 56 億円、0.08%の微増、赤字額は 1,080 億円下回ったが、これは景気回復に伴う賞与の上昇に加え、保険料率の引き上げにより保険料収入が増加したことと、前々年度精算分の影響で拠出金・納付金等額が減少したことによる。約 3 割の組合が保険料率を引き上げたにもかかわらず 過去 2 番目の赤字決算となり、引き続き健保組合財政は逼迫している。
- (2) 赤字組合は前年度比 69 組合減の 1,115 組合となったが、依然として約 8 割の組合が赤字の状況である。赤字総額は前年度比 800 億円減の 4,836 億円となった。

経常収支差引額の状況

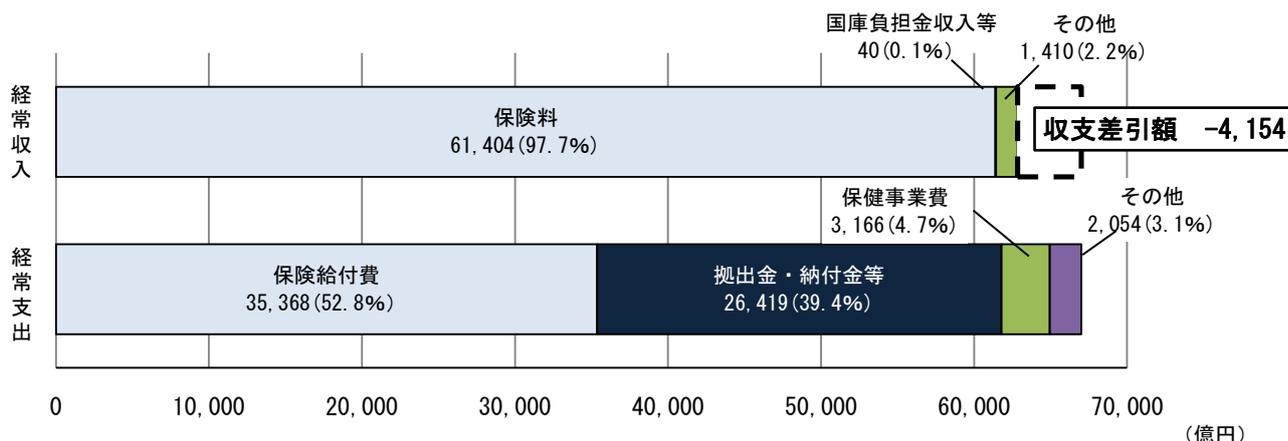
| | 平成22年度 | 平成21年度 | 対前年度比較 |
|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 経常収支差引額 | △4,154億円 | △5,234億円 | 1,080億円改善 |
| 赤字組合の赤字総額 | △4,836億円 | △5,636億円 | 800億円減 |
| 黒字組合の黒字総額 | 682億円 | 402億円 | 280億円増 |
| 赤字組合数 (赤字組合の割合) | 1,115組合 76.47% | 1,184組合 80.38% | 69組合減 3.91ポイント減 |
| 黒字組合数 (黒字組合の割合) | 343組合 23.53% | 289組合 19.62% | 54組合増 3.91ポイント増 |

経常収支状況と保険料率引き上げ組合数の推移



(注) 平成13年～21年度までは決算、22年度は決算見込みの数値である。

平成22年度決算見込 経常収支の内訳



(注1) () 内は経常収入、経常支出における構成比である。

(注2) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

【収入】

- 平均保険料率(2月末)は7.672%(調整保険料率含む)で、前年度比0.222ポイント増加した。料率を引き上げた組合は415組合(全組合の28.46%)。調整保険料率の徴収を開始した昭和56年度決算以来、料率引き上げ組合数も対前年伸び率も過去最高である。引き下げた組合は68組合(同4.66%)である。
- 協会けんぽの平均保険料率(9.34%)以上の組合は69組合で全体の4.73%を占めている。
- 保険料収入総額は6兆1,404億円で、前年度比1,733億円、2.90%増加した。被保険者一人当たり額は39万2,482円で、前年度比16,006円、4.25%の増加となった。平均標準賞与額の増加と多くの組合が保険料率を引き上げたことが主な要因である。

【支出】

- 法定給付費総額は3兆4,449億円で、前年度比1,006億円、3.01%増加した。被保険者一人当たり額は22万0,194円で、前年度比9,199円、4.36%の増加となった。被保険者数・被扶養者数が減少したにもかかわらず、総額・一人当たり額ともに過去最高額となった。
- 拠出金・納付金等総額は2兆6,419億円、前年度比769億円、2.83%減少した。そのうち75歳以上に対する拠出金は1兆3,136億円(前年度比97億円、0.73%減)、退職後から74歳等に対する拠出金は1兆3,283億円(前年度比662億円、4.75%減)である。後期高齢者支援金の3分の1報酬割の導入等により、22年度分は前年度に比べて約500億円増加したものの、前々年度精算分の影響で総額としては減少した。被保険者一人当たり額は16万8,867円で、前年度比2,665円、1.55%の減少となった。

- (3) 拠出金・納付金等の保険料収入に対する割合は 43.0%で、前年度に比べ 2.53 ポイント減少したが、法定給付費の保険料収入に対する割合は 56.1%で、前年度に比べ 0.06 ポイント増加した。
- (4) 義務的経費（拠出金・納付金等と法定給付費を合わせた額）の保険料収入に対する割合は、過去最高だった 21 年度に次ぐ 99.1%という高さであった。また、全組合の約 5 割にあたる 692 組合が義務的経費を保険料収入では賄えない状況にあり、拠出金・納付金等が健保組合の大きな負担となっている。

拠出金・納付金等額および保険料収入に対する割合

| | 平成 22 年度 | 対保険料割合 | 平成 21 年度 | 対保険料割合 | 減少額 |
|-----------|---------------|--------|---------------|--------|---------|
| 75 歳以上 | 1 兆 3, 136 億円 | 21.4% | 1 兆 3, 233 億円 | 22.2% | △97 億円 |
| 退職後～74 歳等 | 1 兆 3, 283 億円 | 21.6% | 1 兆 3, 955 億円 | 23.4% | △672 億円 |
| 合計 | 2 兆 6, 419 億円 | 43.0% | 2 兆 7, 188 億円 | 45.6% | △769 億円 |

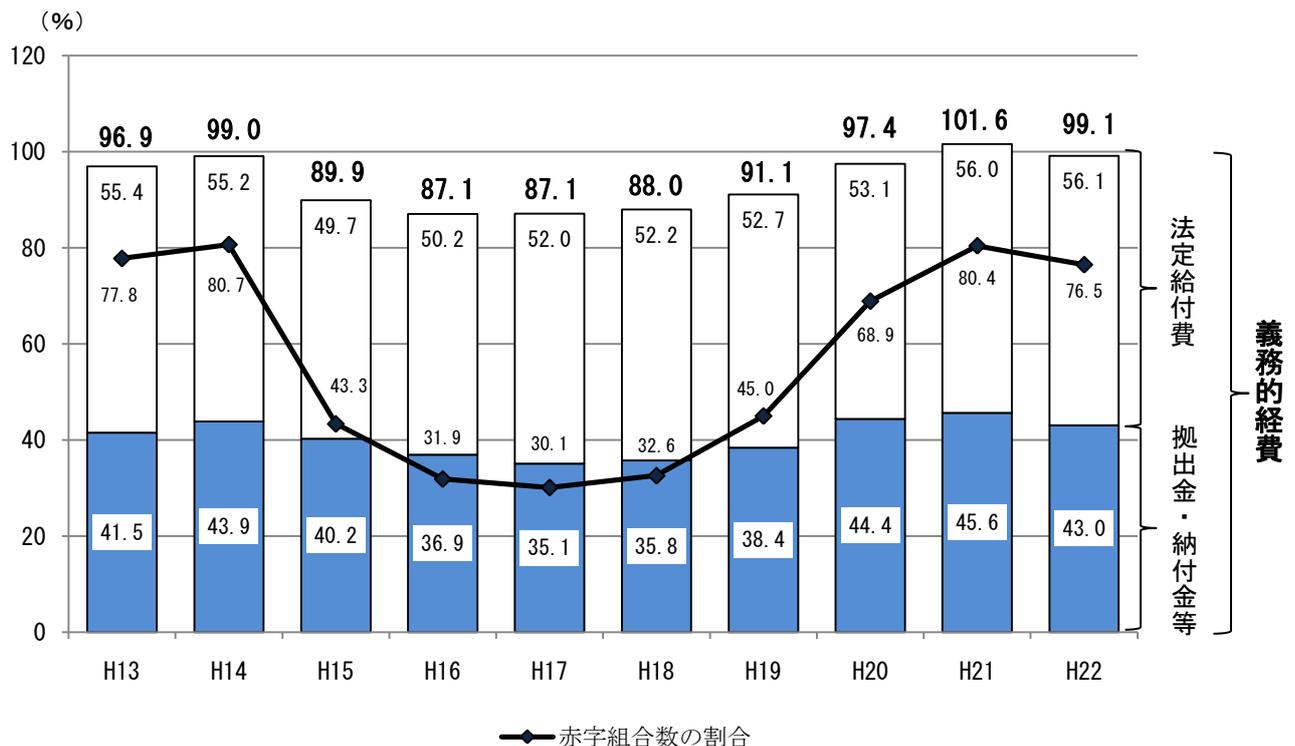
(注 1) 平成 21 年度は決算、22 年度は決算見込の経常収支ベースの数値である。

(注 2) 75 歳以上に対する拠出は、「老人保健拠出金」＋「後期高齢者支援金」である。

退職後～74 歳等に対する拠出は、「退職者給付拠出金」＋「前期高齢者納付金」＋「病床転換支援金」＋「日雇拠出金」である。

(注 3) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

保険料収入に対する義務的経費（拠出金・納付金等と法定給付費）の割合と赤字組合の割合の推移



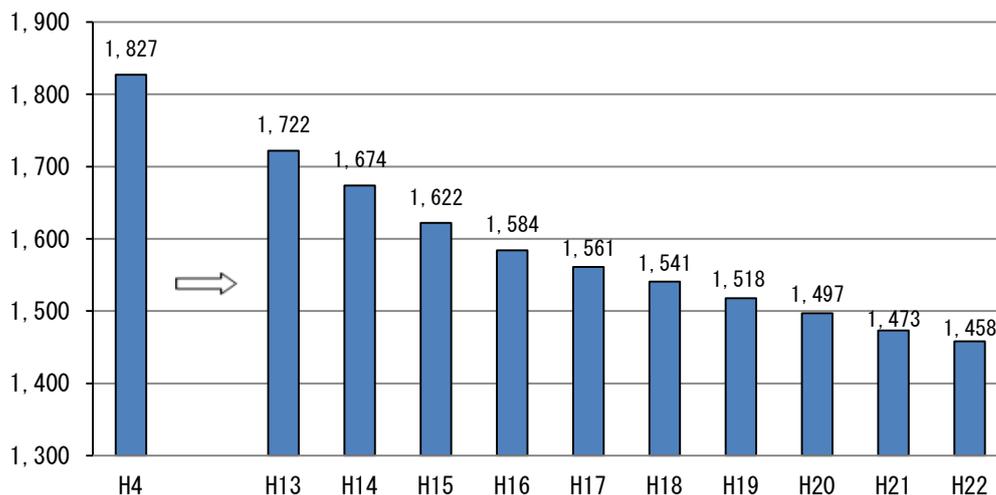
(注 1) 平成 13 年～21 年度までは決算、22 年度は決算見込みの経常収支ベースの数値である。

(注 2) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

2. 適用状況

- (1) 23年3月末現在の組合数は1,458組合で、22年3月末(1,473組合)に比べて15組合減少した(新設5、解散10、合併消滅10)。組合数は7年度(1,819組合)以降毎年減少を続けている。
- (2) 被保険者数は1,564万4,980人で、前年度比約20万5千人、1.29%減少した。16年度以降は5年連続して増加していたが、組合の解散等により前年度に引き続き減少となった。
被扶養者数は1,413万7,784人で、前年度に比べ約9万人減少した。扶養率は0.91人となり、17年度以降、6年連続で「1」を下回っている。
- (3) 平均標準報酬月額は36万0,894円で、前年度比1,681円、0.46%減少した。一方、平均標準賞与額(年間)は103万1,411円となり、前年度比3万4,977円、3.51%の増となった。

健保組合数の推移



(注) 健保組合数のピークは平成4年の1,827組合。

3. 今後の見通し

23年度の予算早期集計では、6,089億円の経常赤字を見込んでいるが、3月11日に発生した東日本大震災前に予算編成されたため、震災の影響は反映されていない。加えて電力不足や円高問題が日本経済へ与える影響もあり、23年度は当初予算より厳しい財政状況になることが予想される。

24年度は日本経済の先行きが不透明な中で、医療費や高齢者医療制度への拠出金が増加すると見込まれ、加えて診療報酬・介護報酬の同時改定によっては、健保組合財政はさらに厳しい状況に陥ることが懸念される。

平成 22年度健保組合決算見込 経常収支状況

(単位：億円)

| | | 22年度決算見込 | 21年度決算概要 | 増 減 | 対前年度伸び率 (%) |
|----------------------------|--------------------|------------|------------|-----------|----------------|
| 組 合 数 | | 1,458 | 1,473 | 15組合減 | - |
| 被 保 険 者 数 (人) | | 15,644,980 | 15,849,932 | 204,952人減 | -1.29 |
| 被 扶 養 者 数 (人) | | 14,137,784 | 14,227,949 | 90,165人減 | -0.63 |
| 扶 養 率 (人) | | 0.91 | 0.91 | 変化なし | - |
| 平均標準報酬月額(円) | | 360,894 | 362,575 | 1,681円減 | -0.46 |
| 平均標準賞与(円) | | 1,031,411 | 996,434 | 34,977円増 | 3.51 |
| 平均 保 険 料 率 (%) | | 7.672 | 7.450 | 0.222増 | 2.98 |
| 特定保険料率 (%) | | 3.388 | 3.472 | 0.084減 | -2.42 |
| 前期高齢者数 (人) | | 751,349 | 748,156 | 3,193人増 | 0.43 |
| 前期高齢者加入率 (%) | | 2.56 | 2.54 | 0.02増 | 0.67 |
| 前期高齢者一人当たり医療給付費(円) | | 343,189 | 333,983 | 9,206円増 | 2.76 |
| 経 常 収 入 | 健康保険収入 | 61,444 | 59,711 | 1,733 | 2.90 |
| | 保険料 | 61,404 | 59,671 | 1,733 | 2.90 |
| | 国庫負担金収入等 | 40 | 40 | 0 | - |
| | その他収入 | 1,410 | 2,007 | -597 | -29.75 |
| 経常収入計 | | 62,854 | 61,718 | 1,136 | 1.84 |
| 経 常 支 出 | 事務費 | 1,164 | 1,185 | -21 | -1.77 |
| | 保険給付費 | 35,368 | 34,385 | 983 | 2.86 |
| | 法定給付費 | 34,449 | 33,443 | 1,006 | 3.01 |
| | 付加給付費 | 919 | 942 | -23 | -2.44 |
| | 拠出金・納付金等計 | 26,419 | 27,188 | -769 | -2.83 |
| | 老人保健拠出金・後期高齢者支援金計 | 13,136 | 13,233 | -97 | -0.73 |
| | 老人保健拠出金 | 122 | 558 | -436 | -78.14 |
| | 後期高齢者支援金 | 13,014 | 12,675 | 339 | 2.67 |
| | 退職者給付拠出金・前期高齢者納付金計 | 13,283 | 13,945 | -662 | -4.75 |
| | 退職者給付拠出金 | 2,093 | 2,851 | -758 | -26.59 |
| | 前期高齢者納付金 | 11,190 | 11,094 | 96 | 0.87 |
| | 病床転換支援金 | - | 10 | -10 | -100.00 |
| | 日雇拠出金 | - | 0 | 0 | - |
| 保健事業費 | 3,166 | 3,299 | -133 | -4.03 | |
| その他支出 | 889 | 896 | -7 | -0.78 | |
| 経常支出計 | | 67,008 | 66,952 | 56 | 0.08 |
| 経常収支差引額 | | -4,154 | -5,234 | 1,080 | -20.63 |

| | | | | | |
|-------------------|--|----------|----------|--------|--------|
| 経常収支黒字組合数 | | 343 | 289 | 54組合増 | |
| 全組合に対する割合 (%) | | 23.53 | 19.62 | 3.91増 | |
| 経常収支黒字組合の黒字総額(億円) | | 682 | 402 | 280 | 69.65 |
| 1組合当たり 黒字額(千円) | | 198,745 | 139,188 | 59,557 | 42.79 |
| 経常収支赤字組合数 | | 1,115 | 1,184 | 69組合減 | |
| 全組合に対する割合 (%) | | 76.47 | 80.38 | 3.91減 | |
| 経常収支赤字組合の赤字総額(億円) | | -4,836 | -5,636 | 800 | -14.19 |
| 1組合当たり 赤字額(千円) | | -433,680 | -476,028 | 42,348 | -8.90 |

(注1) 組合数は3月末の数値である。

(注2) 被保険者数は年間平均、被扶養者数は3月末の数値である(特別退職被保険者及び特別退職被保険者の被扶養者を含む)。

(注3) 扶養率は3月末被扶養者数を3月末被保険者数で除した値である。

(注4) 平均保険料率(調整保険料率を含む)及び特定保険料率は単純平均である。

(注5) **経常収入**とは、収入総額から「調整保険料収入」、「繰越金」、「繰入金(退職積立金を除く)」、「組合債」、「寄付金」、「国庫補助金収入(特定健康診査・保健指導補助金を除く)」、「財政調整事業交付金」、「不用財産等売払代」、「介護勘定受入」を除いて算出した額である。

経常支出とは、支出総額から「調整保険料還付金」、「営繕費」、「財政調整事業拠出金」、「財政運営安定資金」、「介護勘定繰入」を除いて算出した額である。なお、経常収支科目のうち過年度分収支未済分は除き、当年度分収支未済分は加算して算出している。

(注6) **経常収入欄のその他収入**とは、「退職積立金繰入」、「特定健康診査・保健指導補助金」、「特定健康診査等事業収入」、「病院診療所収入」、「訪問看護事業収入」、「介護老人保健施設収入」、「前期高齢者交付金」、「雑収入(不用財産等売払代を除く)」の合計である。

経常支出欄のその他支出とは、「組合債費」、「保険料還付金(調整保険料還付金還付金を除く)」、「病院診療所費」、「訪問看護事業費」、「介護老人保健施設費」、「連合会費」、「出資金」、「積立金」、「その他」の合計である。

(注7) 単位未満の数は四捨五入しているため、各項目の計と合計が一致しないことがある。

平成 22年度健保組合決算見込 経常収支1人当たり状況

(単位：円)

| | | 22年度決算見込 | 21年度決算概要 | 増減額 | 対前年度伸び率 (%) |
|------------------|--------------------|----------|----------|--------|----------------|
| 経 常 収 入 | 健康保険収入 | 392,740 | 376,727 | 16,013 | 4.25 |
| | 保険料 | 392,482 | 376,476 | 16,006 | 4.25 |
| | 国庫負担金収入 | 255 | 249 | 6 | 2.41 |
| | その他 | 2 | 2 | 0 | - |
| | 退職積立金繰入 | 316 | 255 | 61 | 23.92 |
| | 特定健康診査・保健指導補助金 | 231 | 174 | 57 | 32.76 |
| | 特定健康診査等事業収入 | 246 | 253 | -7 | -2.77 |
| | 病院診療所収入 | 3,654 | 3,642 | 12 | 0.33 |
| | 訪問看護事業収入 | 11 | 11 | 0 | - |
| | 介護老人保健施設収入 | 201 | 195 | 6 | 3.08 |
| 前期高齢者交付金 | 17 | 5 | 12 | 240.00 | |
| 雑収入 | 4,335 | 8,129 | -3,794 | -46.67 | |
| 合 計 | | 401,750 | 389,392 | 12,358 | 3.17 |
| 経 常 支 出 | 事務費 | 7,442 | 7,475 | -33 | -0.44 |
| | 保険給付費 | 226,068 | 216,938 | 9,130 | 4.21 |
| | 法定給付費 | 220,194 | 210,995 | 9,199 | 4.36 |
| | 付加給付費 | 5,874 | 5,943 | -69 | -1.16 |
| | 拠出金・納付金等計 | 168,867 | 171,532 | -2,665 | -1.55 |
| | 老人保健拠出金・後期高齢者支援金計 | 83,965 | 83,486 | 479 | 0.57 |
| | 老人保健拠出金 | 779 | 3,518 | -2,739 | -77.86 |
| | 後期高齢者支援金 | 83,186 | 79,968 | 3,218 | 4.02 |
| | 退職者給付拠出金・前期高齢者納付金計 | 84,902 | 87,981 | -3,079 | -3.50 |
| | 退職者給付拠出金 | 13,380 | 17,987 | -4,607 | -25.61 |
| | 前期高齢者納付金 | 71,522 | 69,994 | 1,528 | 2.18 |
| | 病床転換支援金 | - | 65 | -65 | -100.00 |
| | 日雇拠出金 | - | 0 | 0 | - |
| | 保健事業費 | 20,239 | 20,813 | -574 | -2.76 |
| | 病院診療所費 | 4,610 | 4,776 | -166 | -3.48 |
| | 訪問看護事業費 | 12 | 11 | 1 | 9.09 |
| | 介護老人保健施設費 | 193 | 184 | 9 | 4.89 |
| その他支出 | 869 | 684 | 185 | 27.05 | |
| 合 計 | | 428,300 | 422,414 | 5,886 | 1.39 |
| 経常収支差引額 | | -26,551 | -33,022 | 6,471 | |

(注) 経常収入とは、収入総額から「調整保険料収入」、「繰越金」、「繰入金(退職積立金を除く)」、「組合債」、「寄付金」、「国庫補助金収入(特定健康診査・保健指導補助金を除く)」、「財政調整事業交付金」、「不用財産等売払代」、「介護勘定受入」を除いて算出した額である。

経常支出とは、支出総額から「調整保険料還付金」、「営繕費」、「財政調整事業拠出金」、「財政運営安定資金」、「介護勘定繰入」を除いて算出した額である。なお、経常収支科目のうち過年度分収支未済分は除き、当年度分収支未済分は加算して算出している。

平成 22年度健保組合決算見込 科目別収入額

(単位：億円)

| | | 22年度決算見込 | 21年度決算概要 | 対前年増減額 | 対前年度伸び率 (%) |
|-----------------------|-------------------------|----------|----------|--------|----------------|
| 健康 保険 収入 | 保 険 料 | 61,397 | 59,667 | 1,730 | 2.90 |
| | 国 庫 負 担 金 | 40 | 39 | 1 | 2.56 |
| | そ の 他 | 0 | 0 | 0 | - |
| | 小 計 | 61,438 | 59,707 | 1,731 | 2.90 |
| 調 整 保 険 料 収 入 | | 1,004 | 1,015 | -11 | -1.08 |
| 繰 越 金 | | 961 | 1,533 | -572 | -37.31 |
| 繰 入 金 | 準 備 金 繰 入 | 472 | 426 | 46 | 10.80 |
| | 退 職 積 立 金 繰 入 | 49 | 40 | 9 | 22.50 |
| | 別 途 積 立 金 繰 入 | 4,793 | 4,783 | 10 | 0.21 |
| | 老人保健拠出金引当金繰入 | - | 11 | -11 | -100.00 |
| | そ の 他 | 3 | 0 | 3 | - |
| 小 計 | | 5,317 | 5,261 | 56 | 1.06 |
| 組 合 債 | | - | 8 | -8 | -100.00 |
| 寄 付 金 等 | | 40 | 35 | 5 | 14.29 |
| 国 庫 補 助 金 収 入 | | 396 | 226 | 170 | 75.22 |
| 特 定 健 康 審 査 等 事 業 収 入 | | 38 | 40 | -2 | -5.00 |
| 病 院 診 療 所 収 入 | | 572 | 577 | -5 | -0.87 |
| 前 期 高 齢 者 交 付 金 | | 3 | 1 | 2 | 200.00 |
| 財 政 調 整 事 業 交 付 金 | | 1,253 | 1,365 | -112 | -8.21 |
| 介 護 勘 定 受 入 | | 12 | 4 | 8 | 200.00 |
| 雑 収 入 | 利 子 収 入 | 191 | 255 | -64 | -25.10 |
| | 直 営 保 養 所 利 用 料 収 入 | 100 | 112 | -12 | -10.71 |
| | そ の 他 の 施 設 利 用 料 収 入 | 186 | 188 | -2 | -1.06 |
| | 不 用 財 産 等 売 払 代 | 68 | 44 | 24 | 54.55 |
| | 高 額 医 療 費 貸 付 金 回 収 金 等 | 3 | 12 | -9 | -75.00 |
| | そ の 他 | 197 | 720 | -523 | -72.64 |
| 小 計 | | 745 | 1,331 | -586 | -44.03 |
| 収 入 合 計 | | 71,779 | 71,104 | 675 | 0.95 |
| 経 常 収 入 合 計 | | 62,854 | 61,718 | 1,136 | 1.84 |

| | | | | |
|---------------|-------------------|-------------------|----------------|-----------------|
| 経 常 収 支 差 引 額 | -4,154 | -5,234 | 1,080 | -20.63 |
| 総 収 支 差 引 額 | 3,605 (-2,624) | 2,984 (-3,770) | 621 (1,146) | 20.81 -30.40 |

(注1) 総収支差引額欄における括弧内の数値は、総収支差引額から準備金繰入、別途積立金繰入、老人保健拠出金引当金繰入(22年度廃目)、その他の繰入及び繰越金の額を除いたネットの収支差引額である。

(注2) 寄付金等は、寄付金・訪問介護事業収入・介護老人保健施設収入の合計である。

(注3) 単位未満の数は四捨五入しているため、各項目の計と合計が一致しないことがある。

平成 22年度健保組合決算見込 科目別支出額

(単位：億円)

| | | | 22年度決算見込 | 21年度決算概要 | 対前年増減額 | 対前年度伸び率 (%) |
|-----------|------------------|------------|-----------|-----------|-----------------|----------------|
| 事務費 | 事務所費 | | 1,157 | 1,177 | -20 | -1.70 |
| | 組合費 | | 7 | 7 | 0 | - |
| | 小計 | | 1,164 | 1,185 | -21 | -1.77 |
| 保険給付費 | 法定給付 | 被保険者分 | 16,514 | 16,063 | 451 | 2.81 |
| | | 被扶養者分 | 15,435 | 14,956 | 479 | 3.20 |
| | | 高齢者 | 1,203 | 1,189 | 14 | 1.18 |
| | | 高額療養費 | 1,294 | 1,234 | 60 | 4.86 |
| | | 計 | 34,445 | 33,443 | 1,002 | 3.00 |
| | 加付 | 被保険者分 | 582 | 594 | -12 | -2.02 |
| | | 被扶養者分 | 295 | 308 | -13 | -4.22 |
| | | 合算高額療養費付加金 | 42 | 41 | 1 | 2.44 |
| | | 計 | 919 | 942 | -23 | -2.44 |
| | 小計 | | 35,364 | 34,385 | 979 | 2.85 |
| 納付金 | 前期高齢者納付金 | 11,190 | 11,094 | 96 | 0.87 | |
| | 後期高齢者支援金 | 13,014 | 12,675 | 339 | 2.67 | |
| | 病床転換支援金 | - | 10 | -10 | -100.00 | |
| | 日雇拋出金 | - | 0 | 0 | - | |
| | 退職者給付拋出金 | 2,093 | 2,851 | -758 | -26.59 | |
| | 老人保健拋出金 | 122 | 558 | -436 | -78.14 | |
| | 小計 | 26,419 | 27,188 | -769 | -2.83 | |
| 保健事業費 | 特定健康診査事業費 | 367 | 368 | -1 | -0.27 | |
| | 特定保健指導事業費 | 64 | 63 | 1 | 1.59 | |
| | 保健指導宣伝費 | 164 | 188 | -24 | -12.77 | |
| | 疾病予防費 | 1,898 | 1,930 | -32 | -1.66 | |
| | 体育奨励費 | 83 | 109 | -26 | -23.85 | |
| | 在宅療養支援事業費 | 5 | 4 | 1 | 25.00 | |
| | 直営保養所費 | 306 | 337 | -31 | -9.20 | |
| | 高額医療費貸付金等 その他 | 3 277 | 10 290 | -7 -13 | -70.00 -4.48 | |
| 小計 | 3,166 | 3,299 | -133 | -4.03 | | |
| 組合債費 | 3 | 3 | 0 | - | | |
| 還付金等 | 122 | 101 | 21 | 20.79 | | |
| 営繕費 | 159 | 141 | 18 | 12.77 | | |
| 病院診療所費 | 721 | 757 | -36 | -4.76 | | |
| 財政調整事業拋出金 | 996 | 1,007 | -11 | -1.09 | | |
| 積立金 | 41 | 35 | 6 | 17.14 | | |
| 介護勘定繰入 | 18 | 20 | -2 | -10.00 | | |
| 支出合計 | | | 68,174 | 68,120 | 54 | 0.08 |
| 經常支出合計 | | | 67,008 | 66,952 | 56 | 0.08 |

(注1) 還付金等は、還付金・訪問看護事業費・介護老人保健施設費・連合会費・出資金・財政運営安定資金・その他の合計である。

過去5年間の適用状況の推移

| | 平成 18年度 | | 平成 19年度 | | 平成 20年度 | | 平成 21年度 | | 平成 22年度決算見込 | |
|---------------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|------------|---------|-------------|---------|
| | 実 数 | 前年度比 | 実 数 | 前年度比 |
| 組 合 数 | 1,541 | 20組合減 | 1,518 | 23組合減 | 1,497 | 21組合減 | 1,473 | 24組合減 | 1,458 | 15組合減 |
| 被 保 険 者 数 (人) | 15,352,995 | 2.72% | 15,771,690 | 2.73% | 16,044,346 | 1.73% | 15,849,932 | -1.21% | 15,644,980 | -1.29% |
| 年間平均標準報酬月額(円) | 369,315 | -0.25% | 370,001 | 0.19% | 369,725 | -0.07% | 362,575 | -1.93% | 360,894 | -0.46% |
| 平均標準賞与額(円) | 1,156,874 | 0.16% | 1,175,328 | 1.60% | 1,146,632 | -2.44% | 996,434 | -13.10% | 1,031,411 | 3.51% |
| 被保険者の平均年齢(歳) | 40.27 | 0.01歳上昇 | 40.26 | 0.01歳低下 | 40.27 | 0.01歳上昇 | 40.45 | 0.18歳上昇 | 40.68 | 0.23歳上昇 |
| 被 扶 養 者 数 (人) | 15,016,245 | -0.42% | 14,989,314 | -0.18% | 14,509,333 | -3.20% | 14,227,949 | -1.94% | 14,137,784 | -0.63% |
| 扶 養 率 | 0.97 | 0.03人低下 | 0.94 | 0.03人低下 | 0.91 | 0.03人低下 | 0.91 | 変化なし | 0.91 | 変化なし |
| 保 険 料 率 (%) | 7.318 | 0.078低下 | 7.308 | 0.010低下 | 7.380 | 0.072上昇 | 7.450 | 0.070上昇 | 7.672 | 0.222上昇 |
| 事 業 主 | 4.044 | 0.049低下 | 4.038 | 0.006低下 | 4.074 | 0.036上昇 | 4.108 | 0.034上昇 | 4.220 | 0.112上昇 |
| 被保険者 | 3.273 | 0.031低下 | 3.270 | 0.003低下 | 3.306 | 0.036上昇 | 3.342 | 0.036上昇 | 3.451 | 0.109上昇 |

(注1) 組合数は3月末の数値である。

(注2) 被保険者数は年間平均、被扶養者数は3月末の数値である（特例退職被保険者および特例退職被保険者の被扶養者を含む）。

(注3) 平均標準賞与額は、総標準賞与額を平均被保険者数（任意継続・特例退職被保険者数を除く）で除した数値である。

(注4) 扶養率は3月末被扶養者数を3月末被保険者数で除した値である（特例退職被保険者および特例退職被保険者の被扶養者を含む）。

(注5) 保険料率欄は調整保険料率を含む全組合の2月末現在の単純平均値である。

過去5年間の財政指標値の推移

| | 平成18年度 | | 平成19年度 | | 平成20年度 | | 平成21年度 | | 平成22年度 決算見込 | |
|--|--------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|---------|----------------|---------|
| | 実数 | 前年度比 | 実数 | 前年度比 | 実数 | 前年度比 | 実数 | 前年度比 | 実数 | 前年度比 |
| 1. 法定給付費等に要する保険料率(%) | 6.079 | 0.030低下 | 6.284 | 0.205上昇 | 6.802 | 0.518上昇 | 7.231 | 0.429上昇 | 7.330 | 0.099上昇 |
| 2. 実質保険料率(%) | 6.618 | 0.025低下 | 6.819 | 0.201上昇 | 7.329 | 0.510上昇 | 7.730 | 0.401上昇 | 7.886 | 0.156上昇 |
| 3. 法定給付費等に要する保険料率が 協会けんぽの保険料率以上の組合数 | 82 | 30組合減 | 115 | 33組合増 | 277 | 162組合増 | 482 | 205組合増 | 168 | 314組合減 |
| 全組合に対する割合(%) | 5.32 | 1.85低下 | 7.58 | 2.26上昇 | 18.50 | 10.92上昇 | 32.72 | 14.22上昇 | 11.52 | 21.20低下 |
| 4. 保険料率が協会けんぽ料率以上の組合数 | 365 | 63組合減 | 344 | 21組合減 | 366 | 22組合増 | 396 | 30組合増 | 69 | 327組合減 |
| 全組合に対する割合(%) | 23.69 | 3.73低下 | 22.66 | 1.03低下 | 24.45 | 1.79上昇 | 26.88 | 2.43上昇 | 4.73 | 22.15低下 |
| 5. 保険料収入に対する拠出金等の割合(%) | 35.75 | 0.70上昇 | 38.38 | 2.63上昇 | 44.35 | 5.97上昇 | 45.56 | 1.21上昇 | 43.03 | 2.53低下 |
| ・ " 老人保健拠出金の割合(%) | 19.72 | 1.56低下 | 19.47 | 0.25低下 | 2.49 | 16.98低下 | 0.93 | 1.56低下 | 0.20 | 0.73低下 |
| ・ " 後期高齢者支援金の割合(%) | - | - | 0 | - | 18.09 | - | 21.24 | 3.15上昇 | 21.19 | 0.05低下 |
| ・ " 退職者給付拠出金の割合(%) | 16.02 | 2.25上昇 | 18.91 | 2.89上昇 | 7.79 | 11.12低下 | 4.78 | 3.01低下 | 3.41 | 1.37低下 |
| ・ " 前期高齢者納付金の割合(%) | - | - | 0 | - | 15.97 | - | 18.59 | 2.62上昇 | 18.22 | 0.37低下 |
| ・ " 拠出金等+法定給付費の割合(%) | 87.98 | 0.90上昇 | 91.09 | 3.11上昇 | 97.43 | 6.34上昇 | 101.61 | 4.18上昇 | 99.13 | 2.48低下 |

(注1) 財政指標値の算出には、経常収支ベースの数値を用いた。

(注2) 保険料率は調整保険料率を含む単純平均値である。

(注3) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

※協会けんぽの保険料率は、21年度までは8.20%、22年度は9.34%である。

過去10年間の保険料収入に対する法定給付費等(義務的経費)の割合の推移

(単位：%)

| | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 決算見込 |
|--------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 法定給付費 ① | 55.42 | 55.18 | 49.68 | 50.15 | 52.04 | 52.22 | 52.71 | 53.08 | 56.04 | 56.10 |
| 各種拠出金等 ② | 41.51 | 43.86 | 40.23 | 36.91 | 35.05 | 35.75 | 38.38 | 44.35 | 45.56 | 43.03 |
| 老人保健拠出金 (後期高齢者支援金) (再掲) | 32.19 | 33.21 | 28.74 | 24.83 | 21.28 | 19.72 | 19.47 | 20.57 | 22.18 | 21.39 |
| 退職者給付拠出金 (前期高齢者納付金) (再掲) | 9.32 | 10.64 | 11.48 | 12.07 | 13.77 | 16.02 | 18.91 | 23.76 | 23.37 | 21.63 |
| 合 計 (①+②) | 96.93 | 99.04 | 89.91 | 87.06 | 87.08 | 87.98 | 91.09 | 97.43 | 101.61 | 99.13 |

(注1) 上記数値の算出には、経常収支ベースの数値を用いた。

(注2) 保険料収入とは、一般保険料収入に特別保険料収入を加えたものである(15年度まで)。

(注3) 法定給付費等(義務的経費)とは、法定給付費と各種拠出金等の合計である。

(注4) 20年度以降の老人保健拠出金欄は「老人保健拠出金」と「後期高齢者支援金」の合算値である。また、退職者給付拠出金欄は「退職者給付拠出金」と「前期高齢者納付金」の合算値である。

(注5) 各種拠出金等には「病床転換支援金」および「日雇拠出金」を含む。

(注6) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

過去10年間の法定給付費及び各種拠出金等の法定給付費等(義務的経費)に対する割合の推移

(単位：%)

| | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 平成16年度 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 決算見込 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 法定給付費 ① | 57.17 | 55.72 | 55.26 | 57.60 | 59.76 | 59.36 | 57.86 | 54.48 | 55.16 | 56.60 |
| 各種拠出金等 ② | 42.83 | 44.28 | 44.74 | 42.40 | 40.24 | 40.64 | 42.14 | 45.52 | 44.84 | 43.40 |
| 合 計 (①+②) | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |

(注1) 上記数値の算出には、経常収支ベースの数値を用いた。

(注2) 法定給付費等(義務的経費)とは、法定給付費と各種拠出金等の合計である。

(注3) 各種拠出金等には「病床転換支援金」および「日雇拠出金」を含む。

(注4) 端数整理のため、計数が整合しないことがある。

平成22年度決算見込 保険料収入に対する拠出金の割合別組合数

75歳以上
【老人保健拠出金＋後期高齢者支援金】

| | 組合数 | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 15%未満 | 11 | 0.8 |
| 15～20%未満 | 362 | 24.8 |
| 20～25%未満 | 914 | 62.7 |
| 25～30%未満 | 136 | 9.3 |
| 30～35%未満 | 23 | 1.6 |
| 35%以上 | 12 | 0.8 |
| 計 | 1,458 | 100.0 |
| 平均 | | 21.39 |

退職後～74歳
【退職者給付拠出金＋前期高齢者納付金】

| | 組合数 | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 15%未満 | 317 | 21.7 |
| 15～20%未満 | 283 | 19.4 |
| 20～25%未満 | 332 | 22.8 |
| 25～30%未満 | 271 | 18.6 |
| 30～35%未満 | 121 | 8.3 |
| 35%以上 | 134 | 9.2 |
| 計 | 1,458 | 100.0 |
| 平均 | | 21.63 |

拠出金・納付金等合計

| | 組合数 | 割合(%) |
|----------|-------|-------|
| 20%未満 | 4 | 0.3 |
| 20～30%未満 | 105 | 7.2 |
| 30～40%未満 | 406 | 27.8 |
| 40～50%未満 | 589 | 40.4 |
| 50～60%未満 | 254 | 17.4 |
| 60%以上 | 100 | 6.9 |
| 計 | 1,458 | 100.0 |
| 平均 | | 43.03 |

(注1) 保険料収入に対する拠出金の割合の算出には、経常収支ベースの数値を用いた。

(注2) 「割合(%)」欄の数値については端数整理のため、計数が整合しないことがある。

(注3) 拠出金・納付金等合計には「病床転換支援金」及び「日雇拠出金」を含む。

平成22年度決算見込 保険料率別組合数

(平成23年2月末)

| | 単一組合 | 総合組合 | 全組合 | 構成割合 (%) |
|-------------|-------|------|-------|----------|
| 6.0%未満 | 93 | — | 93 | 6.4 |
| 6.0%～6.5%未満 | 98 | 3 | 101 | 6.9 |
| 6.5%～7.0%未満 | 149 | 3 | 152 | 10.4 |
| 7.0%～7.5%未満 | 209 | 20 | 229 | 15.7 |
| 7.5%～8.0%未満 | 188 | 31 | 219 | 15.0 |
| 8.0%～8.5%未満 | 247 | 67 | 314 | 21.5 |
| 8.5%～9.0%未満 | 108 | 73 | 181 | 12.4 |
| 9.0%～9.5%未満 | 75 | 56 | 131 | 9.0 |
| 9.5%以上 | 25 | 13 | 38 | 2.6 |
| 計 | 1,192 | 266 | 1,458 | 100.0 |

(注1) 保険料率には調整保険料率が含まれる。なお、全組合平均は 7.672%である。

(注2) 保険料率8.20%以上の料率を設定している組合は、539組合（単一 354組合、総合 185組合）で全組合の 36.97%を占める。

(注3) 保険料率9.34%（協会けんぽ料率）以上の料率を設定している組合は、69組合（単一 42組合、総合 27組合）で全組合の4.73%を占める。

平成 22年度 介護保険決算見込状況

1. 適用状況

| | | 22年度決算見込 | 21年度決算 | 増減数 | 対前年度伸び率 |
|-----------------------|------|------------|------------|------------------------|---------|
| 介護保険第2号被保険者数(人) | | 10,806,994 | 10,785,771 | 21,223人増 | 0.20% |
| 介護保険第2号被保険者たる被保険者数(人) | | 7,485,398 | 7,445,890 | 39,508人増 | 0.5% |
| 特定被保険者制度導入組合数 | | 593 | 595 | 2組合減 | -0.3% |
| 特定被保険者数(人) | | 111,835 | 109,547 | 2,288人増 | 2.1% |
| 平均標準報酬月額(円) | | 423,454 | 428,196 | 4,742円減 | -1.1% |
| 平均標準賞与額(円) | | 1,295,369 | 1,262,756 | 32,613円増 | 2.6% |
| 介護保険料率(%) (2月末) | 事業主 | 0.594 | 0.540 | 0.054 [※] 引上げ | 10.0% |
| | 被保険者 | 0.580 | 0.527 | 0.053 [※] 引上げ | 10.1% |
| | 計 | 1.173 | 1.068 | 0.105 [※] 引上げ | 9.8% |

2. 収支状況

(単位：億円)

| | | 22年度決算見込 | 21年度決算 | 増減額 | 対前年度伸び率 |
|-------|----------|----------|--------|-----|---------|
| 収入 | 介護保険収入 | 5,339 | 4,938 | 401 | 8.1% |
| | 繰越金 | 207 | 247 | -40 | -16.2% |
| | 繰入金 | 268 | 190 | 78 | 41.1% |
| | 国庫補助金受入 | 20 | 21 | -1 | - |
| | 一般勘定受入 | 18 | 20 | -2 | -10.0% |
| | その他の収入 | 4 | 4 | 0 | 0.0% |
| | 収入合計 | 5,855 | 5,419 | 436 | 8.1% |
| 支出 | 介護納付金 | 5,474 | 5,045 | 429 | 8.5% |
| | 介護保険料還付金 | 2 | 1 | 1 | 100.0% |
| | 積立金 | 11 | 22 | -11 | -50.0% |
| | 一般勘定繰入 | 12 | 4 | 8 | 200.0% |
| | その他の支出 | 1 | 0 | 1 | 0.0% |
| | 支出合計 | 5,501 | 5,072 | 429 | 8.5% |
| 収支差引額 | | 353 | 347 | 6 | 1.7% |

3. 決算残金処分予定額

| | 22年度決算見込 |
|-----|----------|
| 準備金 | 168 |
| 繰越金 | 186 |
| 計 | 353 |

(注) 単位未満の数は四捨五入しているため、各項目の計と合計は一致しないことがある。

平成22年度決算見込 介護保険料率別組合数

(平成23年2月末)

| 介護保険料率 | 組合数 | 構成割合 (%) |
|-------------|-------|----------|
| 0.8%未満 | 79 | 5.4 |
| 0.8%～0.9%未満 | 103 | 7.1 |
| 0.9%～1.0%未満 | 152 | 10.4 |
| 1.0%～1.1%未満 | 227 | 15.6 |
| 1.1%～1.2%未満 | 187 | 12.8 |
| 1.2%～1.3%未満 | 243 | 16.7 |
| 1.3%～1.4%未満 | 130 | 8.9 |
| 1.4%以上未満 | 337 | 23.1 |
| 計 | 1,458 | 100.0 |

(注1). 介護保険料率の全組合平均は、1.173%である。

平成22年度決算見込 合算保険料率別組合数

(平成23年2月末)

| 合算保険料率 | 組合数 | 構成割合 (%) |
|--------------|-------|----------|
| 7.0%未満 | 120 | 8.2 |
| 7.0%～7.5%未満 | 92 | 6.3 |
| 7.5%～8.0%未満 | 140 | 9.6 |
| 8.0%～8.5%未満 | 184 | 12.6 |
| 8.5%～9.0%未満 | 197 | 13.5 |
| 9.0%～9.5%未満 | 244 | 16.7 |
| 9.5%～10.0%未満 | 199 | 13.6 |
| 10.0%以上 | 282 | 19.3 |
| 計 | 1,458 | 100.0 |

(注2). 合算保険料率とは一般保険料率+調整保険料率+介護保険料率の合計である。なお、合算保険料率の全組合平均は、8.845%である。

平成22年度健保組合決算見込に基づく損益計算書及び貸借対照表について

今回、公表する損益計算書及び貸借対照表（別紙）は、健保組合会計に求められている「わかりやすさ」と「透明性」の確保の観点から作成したものであり、収支情報に加えて財務諸表の作成に必要なデータを健保組合から収集して、それらの合計値に基づいて健保連において作成したものであることをお断りしておく。

ポイント

1. 平成22年度は、経常損益で▲4,343億円の赤字となり、これに特別損益を加えた当期損益は▲2,769億円となる見込である。

2. 貸借対照表上の総資産は4兆2,490億円となり、負債総額は547億円、差引正味財産は4兆1,943億円となる見込である。

なお、経常収支差と損益計算書の経常損益との差及びネットの総収支差と当期損益との差は、（参考）のとおりである。

(別紙)

損益計算書

自平成22年4月1日 至平成23年3月31日

(単位：億円)

| 借方 | | 貸方 | |
|--------------|---------|----------------|--------|
| 経常損益 | | | |
| 事業損益 | | | |
| 保険給付費 | 35,368 | 健康保険収入 | 61,424 |
| 納付金 | 26,419 | 保険料収入 | 61,384 |
| 前期高齢者納付金 | 11,190 | 国庫負担金収入等 | 40 |
| 後期高齢者支援金 | 13,014 | 0 | |
| 病床転換支援金 | 0 | 交付金 | 3 |
| 日雇拋出金 | 0 | 前期高齢者交付金 | 3 |
| 退職者給付拋出金 | 2,093 | | |
| 老人保健拋出金 | 122 | | |
| 保健事業費等 | 3,917 | 保健事業等収入 | 965 |
| 特定健康診査事業費 | 367 | 特定健康診査等事業収入 | 38 |
| 特定保健指導事業費 | 64 | 直営保養所利用料収入 | 100 |
| 直営保養所費 | 306 | その他の施設利用料収入 | 186 |
| その他保健事業費等 | 3,179 | 病院診療所収入 | 572 |
| 一般管理費 | 1,164 | 訪問看護事業収入 | 2 |
| その他事業費用 | 238 | 介護老人保健施設収入 | 31 |
| | | 特定健康診査・保健指導補助金 | 36 |
| | | その他事業収益 | 49 |
| | | 退職給付引当金繰入 | 49 |
| 事業損益計 | 67,107 | | 62,442 |
| 事業利益 (▲損失) | ▲ 4,665 | | |
| 事業外損益 | | | |
| 支払利息 | 1 | 受取利息 | 175 |
| その他事業外費用 | 50 | その他事業外収益 | 198 |
| 事業外損益計 | 51 | | 373 |
| 事業外利益 (▲損失) | 322 | | |
| 経常損益計 | 67,158 | | 62,815 |
| 経常利益 (▲損失) | ▲ 4,343 | | |
| 特別損益 | | | |
| 財政調整事業拋出金 | 996 | 調整保険料収入 | 1,004 |
| その他 | 90 | 財政調整事業交付金 | 1,253 |
| | | 国庫補助金収入 | 360 |
| | | 寄付金 | 7 |
| | | その他 | 37 |
| 特別損益計 | 1,087 | | 2,661 |
| 特別利益 (▲損失) | 1,574 | | |
| 損益計 | 68,244 | | 65,476 |
| 当期利益 (▲損失) | ▲ 2,769 | | |

貸借対照表

平成23年3月31日

(単位：億円)

| 借方 | | 貸方 | |
|----------|--------|-------------|--------|
| 流動資産 | 29,036 | 流動負債 | 18 |
| 預貯金・信託 | 28,941 | 未払費用・未払金等 | 18 |
| 未収収益・未収金 | 70 | 固定負債 | 528 |
| 短期貸付金 | 25 | 組合債 | 34 |
| 固定資産 | 13,454 | 退職給付引当金 | 450 |
| 土地 | 2,058 | 退職給付引当金積立不足 | 44 |
| 建物 | 2,749 | | |
| 国債・社債 | 7,358 | 法定準備金 | 16,871 |
| 基金委託金 | 661 | 別途積立金 | 18,872 |
| 出資金 | 84 | その他 | 5,056 |
| 住宅貸付金 | 6 | 次期繰越利益 | 1,145 |
| その他 | 538 | 当期利益 (▲損失) | ▲2,769 |
| 借方計 | 42,490 | 貸方計 | 42,490 |

(注1) 上記数値は、平成22年度決算見込残金処分予定額に基づく処分後の額である。

(注2) 本文中の法定準備金を含む積立金の額と貸借対照表上の法定準備金と別途積立金の合計額が異なるのは、貸借対照表上の別途積立金には老人保健拋出金引当金が含まれているからである。

(注3) 単位未満の数は四捨五入しているため、各項目の計と合計は一致しないことがある。

(参考)

I. 経常収支差と経常損益及びネットの総収支差と当期損益の差

*1 経常収支差(▲4,154億円)と経常損益(▲4,343億円)の差(▲189億円)が生じる要因

経常収支差(▲4,154億円)と経常損益(▲4,343億円)の差(▲189億円)が生じる要因は、現金の移動があり、経常収入や経常支出には含まれるが、それに見合う資産や負債の増減があるため、収益や費用には含まれない経常収入(▲19億円)や経常支出(12億円)があり、また、減価償却費など経常支出には計上されていないが、損益計算書上、経常費用として計上されるべき費用・損失(▲182億円)があるためである。詳細は以下のとおりである。

表1 経常損益に含まれない経常収支

| 経常収益に含まれない経常収入 | | 経常費用に含まれない経常支出 | |
|----------------|------|----------------|------|
| 高額医療費貸付回収金等 | 19億円 | 高額医療費貸付金等・出資金 | 3億円 |
| | | 組合債費(元金償還部分) | 2億円 |
| | | 積立金(退職積立金を除く) | 7億円 |
| 経常収支差からマイナス | 19億円 | 経常収支差にプラス | 12億円 |

表2 経常損益に計上したもの

| 経常費用に計上したもの | |
|-------------|-------|
| 減価償却費 | 175億円 |
| 残金処分(退職積立金) | 0億円 |
| 不納欠損額 | 7億円 |
| 預貯金・信託評価損 | 0億円 |
| 経常収支差からマイナス | 182億円 |

*2 ネットの収支差と当期損益の差が生じる要因

ネットの収支差(▲2,624億円)と当期損益(▲2,769億円)の差(▲145億円)が生じる要因は、ネットの収支には上記*1における差(▲189億円)に加え、基本的には*1と同様の理由により収益や費用に含まれない収入(▲100億円)や支出(177億円)が含まれており、また、支出には計上されていないが、新たに費用に計上されるべきもの(▲97億円)及び収益には計上されていないが、新たに収益に計上されるべきもの(65億円)が含まれているためである。詳細は以下のとおりである。

表1

| 収益に含まれない収入 | | 費用に含まれない支出 | |
|---------------------|-------|-------------|-------|
| 前年度以前収入未済額(不納欠損を除く) | 21億円 | 前年度以前支出未済額 | 0億円 |
| 組合債 | 0億円 | 営繕費 | 159億円 |
| 不用財産等売却代 | 68億円 | 介護勘定繰入 | 18億円 |
| 介護勘定受入 | 12億円 | 財政運営安定資金 | 0億円 |
| ネットの収支差からマイナス | 100億円 | ネットの収支差にプラス | 177億円 |

表2

| 新たに費用に計上したもの | | 新たに収益に計上したもの | |
|---------------|------|--------------|------|
| 当年度支出未済額 | 7億円 | 当年度収入未済額 | 28億円 |
| 固定資産売却/廃却損 | 66億円 | 固定資産売却益 | 21億円 |
| 固定資産等評価損 | 8億円 | 国債・社債等債券売却益 | 16億円 |
| 国債・社債等債券売却損 | 16億円 | | |
| 国債・社債等債券等評価損 | 0億円 | | |
| ネットの収支差からマイナス | 97億円 | ネットの収支差にプラス | 65億円 |

Ⅱ. 損益計算書、貸借対照表の「その他」の科目

《損益計算書》

事業損益・その他事業費用＝退職給付引当金繰入、減価償却費、連合会費、還付金

事業外損益・その他事業外費用＝支出中のその他(当年度支出未済増減後)＋収入未済・貸付金不納欠損額

事業外損益・その他事業外収益＝雑収入中のその他(当年度収入未済増減後)

特別損益・その他(借方)＝固定資産売却/廃却損・評価損、国債・社債等債券売却・評価損

特別損益・その他(貸方)＝固定資産売却益、国債・社債等債券売却益

《貸借対照表》

借方・その他＝(病院・診療所、保養所等の)備品等

貸方・その他＝その他財産(土地・建物・備品等)

次期繰越利益の内訳

次期繰越利益＝当年度繰越金＋未収収益・未収金＋短期貸付金－未払費用・未払金

－組合債－退職給付引当金積立不足額

1,145億円＝1,138億円＋70億円＋25億円－10億円－34億円－44億円

健保組合の財政状況は、本来個々の組合ベースで収支状況を見るべきであり、連結して示すものではないが、平均的姿を明らかにするため、便宜的に全体集計を行ったものである。